



愛知県板金工業組合  
会報委員会  
名古屋市昭和区北山町  
3-8-6 〒466-0006  
電話 052-732-1226

### 2000年 愛知県板金工業組合 新年懇親会

愛知県板金工業組合は平成十二年一月十六日(日)東三ブロック担当により蒲郡市のホテル「竹島」にて、来賓二十三名、組合員一七六名、計百九名ものご出席を賜り開催されました。

午前十一時より受け付け十二時開宴、近藤泰則氏の司会で始まり、居平義和氏が開会の辞を述べられた。  
二村豊東三ブロック長が歓迎の挨拶をされ、好不況の波は十年周期だとすれば二〇〇〇



▲あいさつする二村東三ブロック長



▲懇親会風景

〇年はまさに好景気の年、ミレニアムリベンジ経済と銘打ってフォロワーの風を期待したいと歓迎の言葉とされた。  
村上理事長は、休日にもかかわらずわず多数ご出席くださいとお礼と、長引く不況に政府は十八兆円の景気浮揚対策を出したが昨年に続き今年も不安な年になるかもしれないが、自動努力して自分の城は自分で守り、乗り切るしかないのご挨拶され、懇親会を設営した東三ブロックに対し謝意の

お言葉をいただきました。  
神田愛知県知事の祝辞のなかで経済は緩やかながら上向いているが依然として厳しい中小企業の方が、持ち前の機動力や柔軟性を発揮し、時代を切り開いていくことがなによりも重要だと愛知県商工部機械繊維産業課伊奈課長が代読されました。  
地元選出で衆議院議員浅野勝人氏のご挨拶で、板金組合のように二代三代と続く技術者集団は余人をもって代え難く、敬意を表したい。政治家としては個人が喜んで住宅を建てたくするような税制対策を自覚している。  
前衆議院片岡武司氏、愛知県議会議長松山登氏、同議員杉田元司氏、前同議員山本明彦氏、少し遅れられたが豊橋市の早川勝市長からもご挨拶をいただきました。  
日本鐵板(株)名古屋支店支店長武田靖彦氏の乾杯で開宴、日本製の艶やかな芸者衆とギャル風コンパニオン嬢、和洋折衷の入場により華やき、彼女らの笑顔の接待による和やかな宴でした。男にとって心惹かれる日本髪って何でしょうね。舞台の踊りの写真を注文したところ「踊りより貴方の側にいたいよ」とサラリとかわされた。  
宴の二時間はアツという間にすぎ、愛知県亜鉛鉄板問屋会会長の伊藤嘉邦氏の中締め

- で親睦会は終了しました。皆様から「良かったよ」「東三もやるネ」等、お褒めのことをいただきました。多々不手際があったかと思いますが、二村ブロック長はじめ組合員になりかわりまして心より御礼申し上げます。今年こそ皆様にとって良い年でありますようにお祈りし、来年担当されます知多ブロックにパトナタッチして終了とします。
- 時間の都合でご挨拶いただけませんでしたが来賓の皆様をご紹介します。
- \*愛知県中小企業団体中央会 事務局長 青木 信孝氏
- \*職業訓練法人岡崎工学院 理事長 山本 清氏
- \*愛知県板金総合 職業訓練協会 会長 羽柴 弘和氏
- \*㈱淀川製鋼 小野 雅夫氏
- \*大同鋼板(株) 西久保博明氏
- \*松下電工(株) 河田 敏博氏
- \*積水化学工業(株) 白井 恒男氏
- \*㈱ニッパンビジネスサービス 広瀬 勝治氏
- \*マルサン金属建材(株) 鈴木 廣氏
- \*㈱イリノ 入野 道宏氏
- \*愛知県亜鉛鉄板問屋会 会長 伊藤 嘉邦氏
- 副会長 加藤 芳文氏
- 会計 細野 修氏
- 渉外委員長 内田 哲史氏
- 東三 吉田

## 第52回全国建築板金業者神奈川大会旅行行程表

平成12年6月9日(金)～6月10日(土) 1泊2日

日次	日(曜)	行程
1	6/9 (金)	名古屋駅西口 7:30
		名古屋I.C. 9:00
		浜名湖S.A. 9:15
		富士川S.A. 10:40(井・茶)横込み11:00
2	6/10 (土)	海老名S.A. 12:10
		横浜町田I.C. 12:25
		石川町J.C. 12:40
		大黒I.C. 15:00
		川崎浮島J.C. 15:30
		木更津J.C. 16:30
		木更津南I.C. 16:30
		小湊(泊) 17:30
		ニュー小湊ホテル吉夢 TEL 0470-95-2111
		誕生寺(徒歩自由参詣) 9:00
		鯛の浦(遊覧船(25分)) 9:00
		小湊湾内(徒歩) 9:25
		ホテル吉夢 9:30
		金谷港(徒歩自由参詣) 10:50
		久里浜港(食) 11:55
		佐原I.C. 12:00
		狩場 12:50
		横浜町田I.C. 14:40
		足柄S.A. 14:55
		牧原S.A. 16:20
		浜名湖S.A. 16:35
		名古屋I.C. 17:20
		名古屋駅西口 19:20頃

## 第52回全国建築板金業者神奈川大会 参加者募集

大会は、平成12年6月9日(金)「国立横浜国際会議場」において開催されます。  
愛知県板金は左記の行程で組合員の皆様と参加したいと準備しました。多数の参加を願っています。

◆申込締切 平成12年2月末日

◆参加費 38,000円 (大会参加費含む)

◆お申込は、各支部長へ参加費を添えて申込んで下さい。

# トピックス

## 国民年金 基金だより



### 「今が加入のチャンス」

国民年金基金は、本体の国民年金と同じく5年ごとに財政の見直しをすることになっています。この財政再計算に基づいて、平成12年4月から新規加入者の掛金の引上げが予定されています。

この掛金の引上げは既に入っている方は適用されず、現在の掛金のまゝで納付して

いただきます。引上げはありませ

ん。したがって、まだ国民年金基金に加入されていない方々に対して、平成12年3月末までの、なるべく早い時期に加入される事をお勧めいたします。

現在の掛金は運用予定利率を四・七五%として決められて

いますが、引上げは四%として設定されることとなります。

また、この財政再計算において、60才からの平均余命が男女間の格差が拡大しており、今後

もその傾向が

続くとみられ、男女別の掛金（女性の引上げ額が大きい）とされる予定ですので、特に女性の方は改正前のご加入が有利になります。

今の経済状況では、引上げ後の四%になっても金融機関での運用と比べて十分に有利な条件ですが、12年3月末までの、更にお得な期間中に加入されますようお願いいたします。

### 確かな安心、ゆとりのお老後

します。

◎自営業など国民年金の保険料を納めている方が加入できる制度です。（20才～60才未満）

◎年金受取額2・2倍以上

◎掛金は全額所得控除

◎年間300万円のゴールド年金プランも可能です。（国民年金にプラスしてご夫婦が加入された例です）

◎加入申込・照会は

全国板金業国民年金基金  
〒108-0073 東京都港区三田  
1-3-37 板金会館6F  
電話・フリーダイヤル  
0120-034-1165

FA X  
03-5443-6045

◎愛知県事務局長への照会は  
電話 052-732-112

26へ

厚生委員会

## 名古屋板金連合会 新年安全祈願祭

### 熱田神宮 平成十二年一月八日

名古屋板金連合会では正月の八日に熱田神宮で組合員の安全と商売繁盛を願う新年安全祈願祭を行った。

名古屋ブロックの役員と県

板から村上理事長と吉田専務

にもご出席をお願いして本殿

前に揃って参拝。神楽殿で組

合員の安全と商売繁盛の祈願

をご祈禱してお神楽を奉納し

た。例年行っている行事である

が、不況であるためか神頼

みをする人が多く十一月に予

約をしたのだが十一時のご祈

禱が定員を上回って時間

を三十分早めてほしいと神宮側から依頼され十時三十分からのご祈禱となった。

九時から始まる祈願祭で百

五十人ほど入れる神楽殿が満

席で希望する時間にはご祈禱

がしていただけないのである。

昨年までは何年間も十一時で

安全祈願をお願いしてきたが

年々祈願に訪れる人や団体が

増えてきているのは参拝して

いても良く分かる。

今年には二十年の節目と重なり土曜日であったことで結婚

式も多くあり人も多かった。

## 岡崎板金工業組合の模索

### 仕事確保支援事業

ミレニアムの一年が始まった。昨年来続いている業界の不振は、今も深刻さを増している様である。

岡板では、昨年の4月、組合長の号令のもと、「仕事確保支援事業」と名付けて、新たな集まりを作っている。メンバーは現在19事業所。昨年6月より本格的に動き出した。

司令塔は(株)共立の石原氏。各

事業所が仕事が多くなったとき、又は、仕事が切れたとき、司令塔に連絡をする、司令塔はメンバー全員に内容を連絡するのである。あとは事業所と事業所との話し合いに任せられています。かつて仲間同志だけで行なっていた、仕事上の行き来を、間口を広げ、組合という組織の中で立ち上げた

ものです。現在は、組合の3

祈願祭終了後連合会の支部長会を兼ねて食事会を行う。

東門にあったウナギの食事処「蓬菜軒」が新装して南門前に移転して一度ここで食事

をしたいと思っていたが毎年時間が十二時になることで予約を入れても断られていた。

やむなく少し遠くの本店まで歩いていったが、今年には祈願が三十分早まったので蓬菜軒南門店での昼食も予約をとることが出来た。

結果は昼食時間で多くの人が訪れて満席の中でゆったり

食事をする事が出来ず、あ

わただしい中で支部長会と

昼食会に終わってしまったこ

とをお詫びして反省している。

名古屋板金連合会

会長 鷲見 收

割程度の参加事業所数ですが、組合の中のひとつの柱として大きな存在になる様に思っています。

組合が組合員個々のために何が出来るのか？ ミレニアムにふさわしい、岡板の模索の始まりである。

岡崎 中西



## 国民年金基金二コース

### 特報!!

平成12年4月以降

のご加入の方から

掛金の引き上げが

行われます。



今がご加入のチャンスです!

★引き上げ前の掛金で加入しましょう。

平成12年3月31日までにお申し込み下さい。

# 平成12年 愛知県亜鉛鉄板問屋会 新年賀詞交歓会

愛知県亜鉛鉄板問屋会(伊藤嘉邦会長・伊藤二郎商店社長)恒例の新年賀詞交歓会が、正月気分を切り切らぬ一月七日午後五時より、名駅前キャスルプラザ「鳳凰の間」に総勢百四十人余りが参集して盛大に開催された。

問屋会とは切っても切れぬ間柄である愛知県板にも毎年お招きがあり、三役四人が出席した。

席したが、十六日に行われた県板新年会には問屋会三役を招き、相互交流と意思の疎通を深めている。特に昨今のハウスメーカー発注の住宅工事では材料支給が主流になりつつあり、流通業の問屋会各社が外されている実情がある。一方県板傘下の組合員は安い単価で取付屋にされ、専門技術だけが利用されている事から問屋会との連携はより一層強固なものにして行かなければならない。会場は不況を吹飛ばすかの熱気に包まれ、若手担当者企画のアトラクションも大好評で過ぎ「平成十二年は昇龍の勢いで」を合言葉に中締めの後、加藤副会長ユニークな閉会の辞で納めとなった。



# 青年部技能競技大会 県予選を行う

平成十二年一月九日(日)

豊橋職業訓練センターにて第二十一回青年部技能競技大会(東三支部担当)が行われました。

ご来賓に村上理事長、東三ブロック長二村様、青年部担当高橋様を迎え、建築技術の部(施工図)4名、技能競技の部(パケツ)8名の選手が、午前九時三十分、始め、の合図で競技に取り掛かりました。

各選手とも正月返上で練習してきたので手際良く作業をして、終了、の合図ではすば

選手一同



らしい出来の施工図やパケツが机の上に並びました。大会終了後、役員幹事に審査をし、施工図の一位藤井秀幸君(東三)、二位片山匡裕君(岡崎)、パケツでは一位酒井克幸君(安城)、二位高柳信悟君(岡崎)が選ばれ、二月十六・十七日に高知県で開催される第二十二回全国建築板金技能競技大会に愛知県代表選手として参加する事になりました。

県大会では、役員幹事、東三支部の皆さんの協力でケガや事故も無く競技大会を終えることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

安城 岩崎

# 東三板金工業組合新年会

一月五日(水)毎年恒例の東三板金工業組合の新年会が蒲郡市のホテル「竹島」にて、村上理事長、マルサン金属建材代表取締役社長鈴木廣氏、(株)ウチダ代表取締役社長内田哲史氏のご出席を賜り、組合員四十五名の方々が出席されて行われました。

二村組合長が新年のご挨拶をされ昨年までは暗い話ばかり今年は一〇〇〇年で節目の年、組合員全員の皆様と力を合わせれば必ずフォロワーの風は吹く前進しましょう。講習会のお礼と愛板への新規加入者が一九名あり計五四名になりましたと報告されました。

村上理事長も昨年は歪んだ政治に金融が目付ききました。愛知県は大型プロジェクトが

控えており技術、技能の愛知の本領を発揮しましょう。今年辰年、龍のように飛躍の年でありますようにとご挨拶されました。

鈴木社長は、リストラは引き算、お上を当てにしない民間レベルで足し算にする方法新規事業(ベンチャー)には補助金が出ますし、新材料、新工法の開発が同時に進めば遅まきながらも足し算に移っていくでしょう。

内田社長は今後も努力なくしては生き残ることは出来ない。好不況にかかわることなく独自性を持ち他に頼らない自立型経営をめざして、来る二十一世紀に向けて頑張りましょうとご挨拶いただいた。大友氏の乾杯で宴が始まり

# 津島支部新年会

毎年一月五日、津島神社にて午後二時より一年の安全を願う安全祈願祭が行われた。毎年組合員のみで行われていたが、県板の安全祈願も兼ね吉田専務にも参加いただいた。その他に毎年同じ町工場の重役の面々及び一般の方々数組約三十名程が、一同正座にて御祈禱をうけた。各代表者が御敬いをうけ、最後に全員が

御神酒をいただき三十分程で終了した。その後、歩いて五分程の料亭魚しまに場を移し新年会が始まった。まずサントリグループの(株)I・E・Dからブリタニカ国際大百科事典及び電子ブックの販売の話をきき少々興味をもったのだがもうすぐ子供が生まれる身分であり小遣い制の私にとっては少々高価なので諦めるこ

チャンネルの切り替えが上手な三河の衆、これも恒例になりました景品くじ引きやコンパニオンのお姉さん方と賑やかな新年会でした。

四月から始まる住宅新法が建設業に携わる者として特に我々業界に「吉」となるようお願いしたい。性根を据えて二〇〇〇年をスタートしたい。

東三 吉田



▲あいさつする二村組合長

とにした。パソコン、インターネット等をされる方にとって電子ブックに興味を持ったのではないのでしょうか。その後新役の交代発表、また今年支部の親睦旅行なので横浜の全板大会を兼ねて行うか、単独で別の旅行にするか討議された。その後本格的に新年会が始まり、今回はコンパニオンではなく和服のベテランの方々により宴もたけなわに進んでいった。

津島 猪飼

# 名古屋板金連合会 平成十二年総会を四月八日に

## 名城会館で開催

名古屋板金連合会では新年安全祈願祭後に第三回支部長会を開催。新年度の総会の日取りを検討した。

出席役員と県板村上理事、吉田専務のスケジュールもお聞きして四月八日の土曜日午

## 天災から教えられたもの

一九九五年、一月十七日、午前五時四十六分、六千四百三十二人の命と多くの建物が失われた。阪神淡路大震災である。高速道路は崩れ、ビルは倒壊し、住宅地域は火災を起し、あたかも戦場の様子を呈していた。あれから、五年の月日が流れた。

今、神戸では、復興めざましい地域とそうでない地域との格差が目につく。震災にあわれた地区で、事業を営んでおられた中小・零細企業の方々は、この五年間をどんな気持ちで過ごされたのだろうか。ただでさえ、パブルがはじけ不況の風が吹き始めていたその上に、この震災である。くじけないほうが不思議である。だが、震災に遭われた人々は負けなかった。復興を誓い、懸命に努力をし、命の炎を燃やしてきた。それには、多くの人たちの善意とボランティアの方々の方々の労苦も忘れてはな

後から、昨年同様名古屋市北区の名城会館で開催することとを決定したので、組合員の一人でも多くの出席をおねがいしたい。詳細については後日三役会にはかりお知らせする。

驚見

驚見

らないと思う。その年の夏に、中国自動車道を通った時の事である。神戸地区とは反対側であったが壊れた屋根に張られたブルーシートが、川のように緩いカーブを描いて流れていた。直下型地震の恐ろしさを見せつけられた想いがした。その時はわずかばかりの義援金と震災に遭われた方々の復興を祈る気持ちだけで自らを納得させてきた。その後、台風による大雨で川の氾濫、山崩れ、また日本海ではナホトカ号の沈没による原油流出、漂着と天災は続いた。まさに世も末かと思われた。それでも、人々は耐えてきた。思えば、我々の父の時代、敗戦の傷跡から立ち直ろうと必死の思いで努力をし、今日の基礎を築いてきた。その血が彼らの内に流れていた。その血を受け継いでいる我々もこの不況に負ける訳にはいか

ない。神戸の方々、また、幾多の災害に遭われ、なお、復活を遂げられた方達をなら

## 1月各支部の動き

名古屋板金連合会	8日	新年安全祈願祭	19名
熱田神宮	8日	熱田神宮	19名
昭和支部	12日	月例会	14名
千種支部	15日	会合(今年度の活動について)	
中支部	9日	南宮大社参拝・支部新年会	11名
熱田南支部	15日	新年初定例会	
30日	青年部新年会		
中村支部	18日	新年懇親会	14名
尾張板金連合会	26日	定例会	13名
瀬戸支部	17日	定例会	8名
江南支部	7日	新年会	17名
18日	月例会		5名
小牧支部	30日	セミナー後集食事	11名
津島支部	5日	津島神社御祈禱・新年会	16名
春日井支部	22日	新年会	23名
西春支部			

て、前に進んで行きたいと思

知立 齊藤

10日	新年会・11年度事業報告及び12年度事業予定	組合員 28名	
夫 人		5名	
岡崎支部	20日	役員会(2月20日支部総会準備)	
24日	役員会(総会打合せ・役員慰労)		
碧南支部	13日	役員会(組合費値上げについて)	
22日	支部総会・太子講		29名
知立支部	20日	定例会	5名
刈谷支部	19日	役員会(支部総会について)	9名
豊田支部	15日	第8回役員班長会	
29日	青年部新年会		
西尾支部	14日	役員会	16名
19日	青年部総会		20名
26日	支部第35回総会		30名
東三支部	5日	定例会	17名
5日	新年会		48名
12日	役員会(県板新年会について)		
14日	青年部定例会		
16日	県板新年会担当		
31日	三役会		

## 編集後記

Y2K(コンピューター二〇〇〇年問題)で暮れY2Kで明けた平成十二年の新春であったが、過ぎて見れば市民生活から企業、自治体にもほとんど影響なく乗り切り、先ずは「安心」と言った所で有るが大騒ぎした程には拍子抜けとでも言うのか空振りに終わった感である。

誤作動により電気や水道が何日も届かないなど、今の技術や体制から考えられない事である。十人十色で一部には真面目に受け取ってしまいうもいるのさう。

Y2K対策には何か月も前から力を入れて来ているのだから、何も起こらなくて当然である。近年コンピューター社会に変革しつつある日本も、先端技術の先駆者を誇る米國にはまだまだかなりの距離間がある発展途上の一面を感じさせられた二〇〇〇年問題であった。

いずれにしても「備えあれば憂いなし」であるから、何時起こるか解らない地震災害などに対しては十分な備えと注意が肝心である。

しかし連日、日常生活にも関わる誤作動を予想したマスコミ・メディア各社の過大報道には問題点が残る。世間には心配だと聞くとやたら買い溜めに走る人が多い。中には半年分もの水やインスタント食品など五十万円も六十万円も買い込んだ異常な人も居たそうだが、必要最小限度にとどめようとはしない人達の神経には少々理解に苦しむ。何年前か、米不足で大騒ぎした事があった。今回も結局は無駄金を使った様な気がしてならない。

一月二十七日(休) 晴  
三四六号 編集会議  
委員 十五名 出席  
安城市内 出張会議